

令和元年度事業実績及び令和2年度事業について

	取組項目	取組内容	令和元年度事業実績	令和2年度実施予定事業	
(1) 圏域全体の経済成長のけん引	①	i. 圏域を構成する各市町の特色を十分に生かした経済成長のための経済戦略の策定及び産学官民一体となった体制整備	圏域内の企業、大学、研究機関、金融機関、連携する市町等が一体となった経済戦略推進体制の構築に取り組む。	<p><大分都市広域圏推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 大分都市広域圏ビジョン策定業務 6月3日にプロポーザルにて事業者を決定 11月開催の大分都市広域圏推進会議にて素案を提出 大分都市広域圏推進会議の開催（11月開催予定） 大分都市広域圏ビジョン会議の開催（11月開催予定） 重要業績評価指標KPIによる事業の進捗管理 	
	②	ii. 中堅企業及び中小企業の経営強化、創業促進等を核とした戦略産業の育成	経済戦略に基づき、圏域の戦略産業の育成に取り組む。	<p><産業活性化プラザ事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 講座数：29 大分市を除く圏域からの受講者数：延べ77人 ※アンケートで把握可能な講座のみ 総受講者数：延べ1,268人 	<p><産業活性化プラザ事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 講座数：0 大分市を除く圏域からの受講者数：0人 総受講者数：0人 ※講座の開催は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から10月以降へ延期されたため、現時点で実績なし。 新型コロナウイルス感染症による「新たな生活様式」への移行に伴い、10月以降から受講者間の距離を確保しつつ、中小企業や創業希望者に対する経営力の向上を目的とした各種講座を広く周知し再開を目指す。
	③	iii. 企業誘致の促進	経済戦略に基づき、圏域への企業誘致に取り組む。	県企業立地推進課と連携し情報共有を図る中で企業誘致の取り組みを検討	県企業立地推進課と連携し情報共有を図る中で企業誘致の取り組みを検討
	④	iv. 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	経済戦略に基づき、圏域の多彩な地場産品のブランドの育成及び販路の拡大に取り組む。	<p><歩行者天国実施事業></p> <p>歩行者天国を3回（6月、10月、11月）実施するなか、イベントコンテンツの一つとして市町連携ブースを設置した。</p> <p>参加市町：6月11自治体【大分市ほか】 10月 6自治体【別府市ほか】 11月10自治体【大分市ほか】</p>	<p><歩行者天国実施事業></p> <p>歩行者天国を3回（5月、9月、10月）実施予定であるが、5月開催は延期。</p> <p>今後は新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら検討する。</p>
				<p><食と暮らしの祭典開催事業></p> <p>市町村連携ブースを出店</p> <p>参加市町：豊後大野市、別府市、日出町、臼杵市、由布市</p>	<p><食と暮らしの祭典開催事業></p> <p>例年通り10月開催予定。</p> <p>今年度は食と暮らしの祭典開催事業を見直すこととしており、今後、内容等について具体的な検討を進める。</p>
				<p><まちなか出店サポートセンター事業></p> <p>【産品販売】開催回数：67回 来場者数：11,132名</p> <p>【ワークショップ】開催回数：5回 参加者数：43名（参加：豊後大野市）</p>	<p><まちなか出店サポートセンター事業></p> <p>【産品販売】開催回数：11回 来場者数：1,433名</p> <p>【ワークショップ】開催回数：0回（新型コロナウイルス感染症の影響）</p> <p>今後も新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら実施していく。</p>
				<p><中心市街地プロモーション事業></p> <p>大分市による市町連携イベント・・・3件</p> <p>①竹田市・豊後大野市・由布市・臼杵市・津久見市</p> <p>②別府市・由布市・豊後大野市・臼杵市・津久見市・竹田市</p> <p>③豊後大野市・津久見市・臼杵市</p>	<p><中心市街地プロモーション事業></p> <p>10月開催予定の市町村連携イベントの調整中。</p>
	<p><海外販路拡大支援事業></p> <p>広域圏を含む県内企業が会員のおおいた産品等海外ビジネス促進協議会（事務局：大分市創業経営支援課）が中国上海で開催された「第2回中国国際輸入博覧会」に大分ブースを設置。</p> <p>参加企業数：5社</p> <p>開催期間：R1年11月5～10日</p>	<p><海外販路拡大支援事業></p> <p>令和元年度に引き続き、おおいた産品等海外ビジネス促進協議会が中国上海で開催される「第3回中国国際輸入博覧会」へ大分ブースを設置する予定であったが、出展見送り。</p> <p>（開催期間：R2年11月5～10日）</p> <p>令和3年度以降については、上海を含めて海外で開催される展示会等への出展に向け、情報収集を進めていく。</p>			

取組項目		取組内容	令和元年度事業実績	令和2年度実施予定事業	
⑤	v. 戦略的な観光施策	経済戦略に基づき、回遊型観光ルートの造成及びMICEの誘致に取り組む。	<p><大分都市広域圏観光PR事業> ○パンフレットの更新・増刷および周遊観光ルートのプロモーション 内訳：日本語（20,000部） 配布場所：観光案内所等 ○発見！体験！おおいた観光物産展in新宿 開催日時：令和元年8月26日・27日 開催場所：JR新宿駅西口広場 イベントコーナー 来場者数：約32,000人 （参加：大分市、臼杵市、由布市、別府市）</p>	<p><大分都市広域圏観光PR事業> ○パンフレットの更新・増刷 ○首都圏における魅力発信イベントの実施予定 開催日時：令和2年11月28日・29日 開催場所：コレド室町テラス 大屋根広場 （参加：大分市、臼杵市、由布市、別府市）</p>	
			<p><サイクリングイベント開催準備事業> ・関係各市（大分市、豊後大野市、竹田市、由布市）による担当者会議の実施</p>	<p><サイクリングイベント開催準備事業> ・関係各市（大分市、豊後大野市、竹田市、由布市）による担当者会議の実施 ・関係各市に加え民間団体等も参加したテストライドの実施 ・これまでの取組に関する報告書の作成、実施主体となりうる民間団体等に対する大会実施の提案</p>	
（2） 高次の都市機能の 集積・強化	⑥	i. 広域的災害等に関する機能の構築	<p><RWC2019消防・救急体制整備に関する応援協定締結> RWC2019大分会場開催日：10月2日、5日、9日、19日、20日 会場：昭和電工ドーム ○応援協定に基づく応援に関する連携強化及び会場警備体制の構築 ○災害備蓄品の購入（テロ等によるNBC災害対応資機材）：令和元年度RWC2019消防救急体制整備事業補助金により化学剤検知器、生物剤検知器、訓練用擬剤、前面マスク吸収缶、陽圧式化学防護服、中和剤、除染シャワー、被除染者簡易服、ターニケット、エアータント、負傷者用ベッドの購入</p>		
				<p><上下水道台帳総合システム> 日本水道協会大分県支部の活動や大分県水道ビジョンの取組を通して県内自治体にシステムの共同利用を呼びかけている。今後も引き続き県内自治体にシステムの共同利用を呼びかける。年度内に大分市で事業者を決定、開発期間を経て令和4年4月までに供与開始予定。（供用開始後の他自治体の途中参加も可）</p>	
	⑦	ii. 広域的公共交通網の構築	<p>圏域全体に都市的サービスを提供する環境、圏域の内外から多様な人々が集まる環境及び大都市への若者の流出に歯止めをかける環境を構築する目的で、高次都市機能の集積した中心拠点としての広域的公共交通網の構築に取り組む。</p>	<p><豊予海峡ルート推進事業> ・大分県・愛媛県の両県主導による協議会を通じて、関係自治体と交流促進事業を行った。 1. 旅行代理店FAMツアー 2. 相互交流事業 3. サイクリング姉妹大会の実施 4. フェリー活用イベント「友情の船」の実施 5. 豊予海峡交流促進事業補助 等</p>	<p><豊予海峡ルート推進事業> ・愛媛西伊予・大分中部地域間交流促進協議会が令和元年度末をもって終了したことから、愛媛との交流については愛媛・大分交流市町村連絡協議会事業に統合する。</p>
				<p><愛媛・大分交流市町村連絡協議会準備事業> ・令和2年2月大分・愛媛18市町の企画部門の担当者を集め、準備会を開催。今後の活動内容等について意見交換を行った。</p>	<p><愛媛・大分交流市町村連絡協議会事業> ・令和2年5月29日大分・愛媛18市町の参加表明により、愛媛・大分交流市町村連絡協議会を発足した。 ・今後も協議会を通じて、関係自治体間の交流促進事業を行う。しかし、以下の事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で実施が延期もしくは未定である。 1. 首長サミット 2. スポーツ農泊交流事業 3. 広報誌相互掲載事業 4. 豊予海峡交流事業補助</p>
⑧	iii. 高等教育・研究開発の環境整備	<p>将来を担う人材の育成を支援するため、高等教育・研究開発の環境整備に取り組む。</p>	<p>大分大学や日本文理大学等（COC+）と連携し圏域共通の課題解決に向けた取組を検討</p>	<p>大分大学や日本文理大学等（COC+）と連携し圏域共通の課題解決に向けた取組を検討</p>	

取組項目		取組内容	令和元年度事業実績	令和2年度実施予定事業
③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	⑨ i. 公共施設の相互利用の促進	圏域内の公共施設の相互利用を促進し、住民活動を支援するとともに、サービスの充実を図る。	<おおいた公共施設案内・予約システム調達業務> ・システム業者の選定、契約及び公共施設案内・予約システム構築が完成し、稼働を開始 (スポーツ(体育)施設が予約可能、文化施設の一部が予約可能)	<おおいた公共施設案内・予約システム管理運営事業> ・「大分市大洲総合体育館」「のつはる天空広場」の予約システム稼働に向けて調整
	⑩ i. 健康診断の受診率の向上	住民が地域で安心して生活を営めるよう、健康診断の受診に係る啓発及び情報共有に取り組むことにより、健康診断の受診率向上を図る。	健康診断の受診率の向上に向け市町の情報共有を図り、今後の周知方法を検討	健康診断の受診率の向上に向け市町の情報共有を図り、今後の周知方法を検討
	⑪ ii. 相談支援機能の強化	高齢者、障がい者等が地域で安心して生活を営めるよう、相談体制等に係る連携強化を図るなど、支援体制の充実に取り組む。	<高齢者SOSネットワーク事業> 県下統一の取組として実施	<高齢者SOSネットワーク事業> 県下統一の取組として実施
	⑫ iii. 地域子育て支援の充実	地域で生まれた子どもたちを地域社会全体で育てていくため、子どもを産み、育てやすい地域を目指して、子育て支援サービス等の質の向上、改善等を図るための連携を推進する。	<小児夜間急患センター運営支援事業> <大分市 小児夜間急患センター> 大分市を除く圏域からの受診者：228人(31年4月～R2年3月) ・1ヶ月あたり19人(受診者数：2,221人(大分市1,908人)) <別府市 別府市保健センター内の夜間こども診療> 別府市を除く圏域からの受診者：1,178人(31年4月～R2年3月) ・1ヶ月あたり98人(受診者数：3,876人(別府市 2,712人))	<小児夜間急患センター運営支援事業> <大分市 小児夜間急患センター> 大分市を除く圏域からの受診者：11人(R2年4月～R2年6月) ・1ヶ月あたり4人(受診者数：166人(大分市154人)) <別府市 別府市保健センター内の夜間こども診療> 別府市を除く圏域からの受診者：106人(R2年4月～R2年6月) ・1ヶ月あたり35人(受診者数：432人(別府市 327人))
	⑬ i. 広域的教育の連携	学校や地域の実情に応じ、特色ある教育活動を生かした交流等による連携を図る。	<大分都市広域圏小中学生交流事業> 令和元年度大分都市広域圏小中学生交流大会 「豊後大野市ジオパーク体験 ～新しい仲間と太鼓体験&ジオサイトを体感しよう!～」 ○日時 令和元年10月6日(日)10:00～16:00 ○場所 豊後大野市清川中学校、神楽会館、原尻の滝、俵楽の郷 ○参加児童生徒数 72名 大分市26、別府市5、日出町3、由布市12 竹田市1、豊後大野市14、臼杵市6 津久見市5	<大分都市広域圏小中学生交流事業> ・令和2年度第1回大分都市広域圏小中学生交流事業担当者の会の開催 ・10月に実施予定であった「令和2年度大分都市広域圏小中学生交流大会(別府市・日出町開催)」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・令和3年2月に、令和2年度第2回大分都市広域圏小中学生交流事業担当者の会の開催予定
	⑭ ii. 文化・芸術の振興	地域の特色ある文化・芸術活動を推進し、圏域内外の交流を促すことにより、交流人口の拡大及び地域の活性化を図る。	<アートレジオン推進事業> ・おおいたアートコレクション 内容：合同展覧会及びワークショップ 期間：令和2年3月16日～22日 参加市町：大分市、別府市、臼杵市、竹田市、豊後大野市、日出町 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止 ・おおいたアーティスト移住・定住ガイドブック 内容：アーティストのインタビューや各市町の魅力、移住・定住情報等を紹介 発行：令和2年1月 ・おおいたアート移住・定住見学ツアー 月日：令和2年2月22日・23日 参加者数：9人 参加市町：大分市・別府市 ※新型コロナウイルスの影響により一部キャンセル	<アートレジオン推進事業> ・大分都市広域圏によるアートイベント 10月に各市町へ連携依頼(予定) ・大分都市広域圏によるアートイベント 内容：合同展覧会及びワークショップ 期間：令和3年2月22日～28日 場所：アートプラザ 参加市町：今後、調整予定
	⑮ iii. スポーツの振興	スポーツ活動を通じた、健康の保持・増進及び地域交流を促進するため、住民が様々なスポーツに触れる機会を幅広く提供するなど、スポーツの振興に取り組む。	<おおいた公共施設案内・予約システム構築事業>【再掲】	<おおいた公共施設案内・予約システム管理運営事業>【再掲】

取組項目		取組内容	令和元年度事業実績	令和2年度実施予定事業
⑩⑥	iv. 文化財等の保護及び活用	圏域内の文化財等の保護に努め、それらを地域資源として活用し、地域の歴史・文化に対する住民の認識を高めるとともに、圏域内外の交流を促進する。	<p><キリシタン・南蛮文化交流事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリシタン南蛮文化交流協定協議会（実行委員会）の開催（2回） ・キリシタン南蛮文化交流協定協議会（作業部会）の開催（5回） ・「第7回宗麟公まつり」（R元年10月5日、6日）での協議会ブースの展開 	<p><キリシタン・南蛮文化交流事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリシタン南蛮文化交流協定協議会の実行委員会及び作業部会の開催（8月～） ・「宗麟公まつり」や市イベントでの協議会ブースの出展
⑩⑦	i. 雇用対策	若年求職者、女性、UIJターン希望者等の各種就労支援に取り組む。	<p><移住・定住就労促進事業></p> <p>○合同企業面接会（労働局・県・大分市等主催）での大分都市広域圏移住相談ブースの設置（8月・12月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月：参加企業数：50社 参加者数100人（参加：大分市のみ）※他の都市のパンフレットを配布 ・12月：参加企業数：49社 参加者数129人（参加：大分市のみ）※他の都市のパンフレットを配布 <p>○広域ガイドブックの増刷</p>	<p><移住・定住就労促進事業></p> <p>○現在のところ新型コロナウイルスの感染防止のため取組事業なし。</p> <p>○今後は合同企業面接会（労働局・県・大分市等主催）での大分都市広域圏移住相談ブースの設置（8月・12月）</p> <p>○広域ガイドブックの増刷</p>
⑩⑧	ii. 市民活動の推進	圏域内における市民活動を促進するため、地域住民、NPO団体、企業等との交流及び活動の支援に取り組む。	NPOをはじめとした各種団体と自治体が連携し、ネットワークコミュニティの構築に向けた協議を進めている	NPOをはじめとした各種団体と自治体が連携し、ネットワークコミュニティの構築に向けた協議を進めている
⑩⑨	i. 減災・防災体制の充実	大規模災害発生時等における相互応援の円滑化及び地域防災力の向上を図るため、減災・防災体制の充実を図る。	<p><災害時における相互応援></p> <p>警戒レベルを用いた避難情報の発令について、情報共有を行い、緊急速報メール等の文言についてもある程度統一した表現にすることを確認した。</p> <p>また、トイレトレーラーの有効性について、協議したが、平時の利用方法や維持管理、移動にはけん引免許が必要なことなど課題が多く、導入は困難との結論に至った。</p> <p>南海トラフ地震臨時情報の運用開始に伴い、事前避難対象地域を確認するため、県に対して30分以内に30cmの津波が到達する地区があるのか再度検証するよう申し入れを行った。</p>	<p><災害時における相互応援></p> <p>コロナ禍での避難について、検討するとともに、各市町の取り組み状況について情報共有を図ることとしている。</p> <p>6月に防災部会を開催する予定であったが、コロナの影響で延期となっている。</p>
⑩⑩-1	i. 一般廃棄物の広域処理 (大分市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市)	資源循環型社会及び低炭素社会の形成を図るため、地球温暖化対策の推進及び一般廃棄物の広域的処理に取り組む。	<p><新環境センター整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物処理施設整備部会を4回開催（平成29年度からの通算：20回） ・「新環境センター整備における建設予定地の決定に関する覚書」を6市にて締結 ・当該予定地の取得に向けた「新環境センター建設用地取得事業」や周辺環境に及ぼす影響等を予測・調査・評価するための「新環境センター整備に係る環境影響評価業務委託」を発注 	<p><新環境センター整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物処理施設整備部会を1回開催（平成29年度からの通算：21回） ・新環境センターにおける事業手法の検討のための「新環境センター整備に係るPFI等導入可能性調査業務委託」を発注 ・一般廃棄物処理施設整備部会を3回開催予定（平成29年度からの通算：24回） ・6市合同の先進市視察の実施 ・事業手法の決定
⑩⑩-2	i. 資源循環型社会の形成 (大分市、別府市、日出町)	資源循環型社会の形成を図るため、一般廃棄物の資源化及び排出量の削減に取り組む。	<p><循環型社会形成推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分都市広域圏環境部会議の開催 ・大分都市広域圏資源循環型社会形成推進事業住民向け講演会を開催（さかなクンのギョギョっとビックリ！！お魚講座～お魚と海の環境について～講師：さかなクン氏） ・啓発パンフレットの作成及び配布（海洋プラスチックごみ問題） 	<p><循環型社会形成推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発パンフレットの増刷及び配布（海洋プラスチックごみ問題）
			<p><下水污泥固形燃料化事業></p> <p>令和元年度までに大分県広域化・共同化検討会を通じて事業の広域化を呼びかけ、別府市と佐伯市から参加の意向が示され、事業者選定に向けたアドバイザー業務委託を発注した。令和2年度は現在のところ、事業地を大在水資源再生センターとして地元や議会に対しての説明を行い同意を得た。今後は、アドバイザー業務のなかで、最適な事業規模や発注仕様を決定して公告、事業者選定委員会により受託事業者を決定して契約する。（令和6年度中に供用開始予定）</p>	

	取組項目	取組内容	令和元年度事業実績	令和2年度実施予定事業
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	⑳ ii. 特定外来生物の広域防除	生態系、人、農林水産物等への被害を及ぼすおそれのある特定外来生物の圏域内外からの一掃に向け、広域防除に取り組む。	<p><特定外来生物広域防除事業> ○生息調査・捕獲作業の報告に係る共通様式の作成。共通の報告様式を事務局が作成。様式を統一することで共通認識可能な情報共有を図った。 ○「巣箱型ワナ」の導入。巣箱型ワナとは大分市が捕獲用具として使用している「餌不要のワナ」のこと。導入を希望する市町に大分市が貸与する。大分市職員が設置し、各自治体で捕獲作業を実施する。令和元年度は日出町に2台、由布市に1台設置した。</p>	<p><特定外来生物広域防除事業> ○今年度の大分都市広域圏環境部会は、新型コロナウイルス感染症の関係で6月末日まで未開催。 ○令和2年度は、「巣箱型ワナ」を別府市に1台、臼杵市に1台設置している。 ○年度内に大分都市広域圏環境部会を招集予定。 ○豊後大野市で「巣箱型ワナ」を設置する予定。</p>
	㉑ iii. 水源流域の水環境の改善	水源流域の現状把握及び水環境の有効的な改善を行うため、情報共有・連絡体制の構築を図る。	水源流域の環境保全についての課題の共有や連絡体制の構築を検討	水源流域の環境保全についての課題の共有や連絡体制の構築を検討
	㉒ i. 救急搬送体制の連携強化の推進	広域的な視点に立ち、人命重視の救急活動を行い、救急搬送体制の連携強化に取り組む。	救急搬送体制の連携強化を図るため、圏域内で消防職員合同訓練を実施	救急搬送体制の連携強化を図るため、圏域内で消防職員合同訓練を実施
	㉓ i. 地域公共交通ネットワークの維持・形成	地域住民の移動手段の確保、利便性の向上等を図るため、地域公共交通ネットワークの維持・形成に連携して取り組む。	<バス等の公共交通広域マップ周知事業> 大分市都市広域マップ「みんなののりもの便利帳」を市内の中学校や掲載施設等で配布	<バス等の公共交通広域マップ周知事業> 大分市都市広域マップ「みんなののりもの便利帳」を市内の中学校や掲載施設等で引き続き配布する
	㉔ i. 広域幹線道路網の整備促進	圏域内の交通の円滑化を図るとともに、防災性と代替性に富む多極ネットワーク型の地域構造を構築するため、高規格道路網をはじめとする広域幹線道路網の整備を促進する。	大分県市町村合同事務局で意見を集約し、各種関係団体を通じて国・県に要望	大分県市町村合同事務局で意見を集約し、各種関係団体を通じて国・県に要望
	㉕ i. 広域的な情報ネットワークの整備		<無料公衆無線LAN推進事業> 大分市：45施設 別府市：20施設 由布市：8施設 合計73施設	<無料公衆無線LAN推進事業> 大分市：46施設 別府市：20施設 由布市：8施設 合計74施設
				<水道標準プラットフォームによる水道事業システム化> 日本水道協会大分県支部の活動や大分県水道ビジョンの取組みを通して県内自治体にシステムの共同利用を呼びかけている。引き続き県内自治体にシステムの共同利用を呼びかける。(株)J E C C社と利用条件等についての詳細を協議する。
㉖ i. 農林水産物の生産振興		農業技術、圏域内の農地、新規就農者等に関する情報の共有化を図り、規模拡大を目指す農業者及び就農希望者に情報を提供するなど、生産性向上並びに担い手及びそれを支える人材の確保・育成に取り組む。	<p><担い手確保対策事業> ・広域圏就農相談会の開催 (R2.2.11コンパルホール) ・就農相談会出展 (9月、1月東京、11月大阪)</p>	<p><担い手確保対策事業> ・広域圏就農相談会の開催 (R3.2月コンパルホール予定) ・就農相談会出展 (未定)</p>
			<p><広域圏農業体験ツアーの開催> ・新型コロナウイルス感染症拡大により中止</p>	<p><広域圏農業体験ツアーの開催> ・農業体験ツアー (R3.3月予定)</p>
			<p><農業PR動画普及啓発事業> ・大分市公式ホームページの動画サイトで公開</p>	<p><農業PR動画普及啓発事業> ・大分市公式ホームページの動画サイトで公開</p>

取組項目		取組内容	令和元年度事業実績	令和2年度実施予定事業
⑳	ii. 有害鳥獣の広域防除	鳥獣被害対策の効果を向上させるため、イノシシ、シカ、サル等、農林業に被害を及ぼす鳥獣の生息実態等の情報を共有するとともに、効率的な予防及び捕獲に向けた連携を図る。	<ジビエ利活用支援事業> 道の駅のはるにて、ジビエ料理の提供、ジビエ加工品の販売等を実施した。	<ジビエ利活用支援事業> 道の駅のはるにて、ジビエ料理の提供、ジビエ加工品の販売等を実施している。今後も引き続きジビエの認知度を広めていく。
㉑	iii. 農林水産物の消費拡大	地域特産物の生産、加工及び販売について広域的な視点に立ち、圏域内外への消費拡大を目指した情報発信等に取り組む。	<ブランドづくり対策事業> ○展示商談会への出展(アグリフードEXPO大阪) 出展者数：8者 成約件数・金額：25件、5,620千円 参加自治体：(大分市、別府市、臼杵市、竹田市、由布市) ○広域圏マルシェの開催 ・実施場所：別府湾サービスエリア(9/28~10/27の土日祭日) ・販売金額：239千円(参加：大分市、別府市、由布市、臼杵市、豊後大野市)	<ブランドづくり対策事業> ○展示商談会への出展(アグリフードEXPO大阪) 令和3年2月出展予定
			<豊後料理創作モデル事業> 10~11月をメイン期間とし、豊後料理を提供する店舗を募集した。 また、ラグビーワールドカップ大分会場の試合当日に、豊後料理PRイベントを開催した。 豊後料理提供店舗47店舗(大分市29店舗・別府市8店舗、由布市3店舗、津久見市3店舗、臼杵市2店舗、竹田市1店舗、豊後大野市1店舗)	<豊後料理創作モデル事業> ・10~11月をメイン期間とし、豊後料理を提供 ・豊後料理をPRする取組みを実施(9~11月)
㉓	i. 移住・定住対策	移住・定住希望者の様々なニーズに対応するため、地域の特性を生かした移住・定住対策に取り組む。	<移住・定住就労促進事業>【再掲】	<移住・定住就労促進事業>【再掲】
			<アートレジオン推進事業>【再掲】	<アートレジオン推進事業>【再掲】
㉔	i. 人材育成・交流	職員の資質及び公務能力の向上を図るため、職員の相互派遣及び交流の強化に取り組む。	<大分都市広域圏未来創造塾> ・令和元年6月10日 開講 ・令和元年度大分都市広域圏推進会議で中間報告 ・令和元年11月19日 別府市長との講和・意見交換会を開催 ・令和2年2月13日 明治大学 木村教授による「自治体間の広域連携」講演 ・令和2年2月26日 日本文理大学 吉村教授による「地方大学を取り巻く現状と課題～社会の変化に応える大学改革が地方を救う」講演 ・第1回~9回未来創造塾開会	<大分都市広域圏未来創造塾> ・令和2年6月 第10回未来創造塾開会 ・令和2年11月 大分都市広域圏推進会議で最終報告、政策提案
			<連携強化のための圏域職員研修事業> ・能力開発研修「こころを掴む対応技術向上研修」(11月27日) (総参加者数：104人(うち圏域市町参加者数15人)) ・一般職員教養講座「一流の人材を育てるディズニーの法則」(1月21日) (総参加者数：101人(うち圏域市町参加者数13人)) ・管理職員教養講座「一流の人材を育てるディズニーの法則」(1月22日) (総参加者数：97人(うち圏域参加者数12人))	<連携強化のための圏域職員研修事業> ・能力開発研修「リーダーをラクにするこころマネジメント講座」(11月26日) 対象者：管理職員 目的：さまざまな違いをもつメンバーがともに働く環境で、互いに気持ちよく仕事をするためのマネジメントの技術を習得し、部下の育成や良好な職場環境づくりを図る。 ・教養講座(令和3年1月頃) 対象者：一般職員および管理職員 目的：有識者など各界の著名人を招聘してご講演いただき、広い視野と教養を身につける。
全31項目				